

成果報告書

応用環境デザイン(都市環境のデザイン)設計課題のための ワークショップ・フィールドワーク

政策メディア研究科 2年

池田靖史研究室

武田英里香

1. 活動概要

期間：2016年3月28日～4月2日

場所：サンファン、プエルトリコ

目的：春学期に開講される応用環境デザイン(都市環境のデザイン)という授業では、大学院生の建築・都市設計スタジオとして世界中の建築学生が参加する国際スタジオに参加している。毎年3月末頃に敷地となる都市ではワークショップとフィールドワークが開催され、敷地に関する理解を深める機会が用意される。2016年の敷地はプエルトリコに決定した。私達は馴染みのない国であるプエルトリコへ実際に赴きワークショップへの参加とフィールドワークを通して現地への理解を深めること、また得られた知識、経験を応用環境デザインでの設計に活かすことを目的とし研修旅を企画する。

2. スケジュール

- 3月28日 Old San Juan レクチャー、敷地見学
- 3月29日 プエルトリコ工科大学見学、プエルトリコレクチャー
- 3月30日 総督官邸見学、フィールドワーク
- 3月31日 フィールドワーク
- 4月1日 リサーチ結果発表
- 4月2日 国立公園フィールドワーク

3. 活動内容

現地では今回のワークショップのホストであるプエルトリコ工科大学の教授からレクチャーを受け、その後教授に案内されながら対象の敷地、敷地周辺を見学しました。敷地であるオールドサンファンという街はプエルトリコの成り立ちにおいて非常に重要な拠点でした。現在は世界遺産もあり歴史的な建物が多数保存されている観光地となっています。フィールドワークを通して教授からより詳細なお話を伺うことができました。



【写真1：旧市街から敷地を見下ろす】

自由時間には慶応からの参加学生でフィールドワークを行いました。主に観光客や現地の住人にインタビューをし、生の声を集めました。プエルトリコの人には驚くほど親切な方が多く突然の訪問でも快く受け入れてくださり、インターネットでは知り得ない情報も伺うことができました。



【写真2(右)：ポルトガルからの観光客】【写真3(中央)：敷地に隣接する集合住宅】

【写真4(左)：集合住宅に住む現地学生】

ワークショップの最終日には全参加校の学生によりリサーチ結果の発表がありました。世界から集ったトップの学生による発表は視点が様々で非常に勉強になりました。

4.今後の予定

9月には各大学、大学院で優秀な作品に選ばれた学生がバンコクに集い発表を行いその中から最優秀作品が選出されます。

5.謝辞

この度はプエルトリコフィールドワークに対し助成をご決断くださりありがとうございました。現地で経験したことはしっかりと今期の設計に活かしてまいります。また、遠いところまで私共に同行して下さった池田靖史先生、小林博人先生にも厚く御礼申し上げます。